

村岡新駅（仮称）整備事業について

◆位置図



●村岡新駅（仮称）は、ＪＲ東海道本線の大船駅と藤沢駅のほぼ中間に位置している

●村岡地区（藤沢市）と深沢地区（鎌倉市）は、市境となる柏尾川を挟んで近接している

◆経緯

昭和60年11月

村岡地区では、国鉄湘南貨物駅廃止

昭和61年6月

村岡地区では、村岡地区自治町内会連合会が市議会に対し、国鉄湘南貨物駅の用地等に関する請願が提出され、全会一致で採択

昭和62年4月

国鉄民営化に伴い、村岡地区では湘南貨物駅跡地、深沢地区ではJR東日本鎌倉総合車両センターの一部を国鉄清算事業団に移管

平成30年12月

神奈川県、藤沢市、鎌倉市で、「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅（仮称）設置に関する合意書」を締結し、村岡新駅（仮称）設置協議会を設立

令和3年2月

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本で、「ＪＲ東海道本線の大船駅と藤沢駅間における村岡新駅（仮称）の設置に関する覚書」を締結

◆新駅の概要

新駅利用者数：約6万5千人（乗降）
ホーム形式：島式1面2線
延長：310m（15両編成に対応）
駅舎構造：橋上駅舎（地上3階鉄骨造）

◆パース図



※パースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります

◆新駅の整備費及び負担割合

整備費 約150億円

負担割合

神奈川県の負担割合	30.0%
藤沢市の負担割合	27.5%
鎌倉市の負担割合	27.5%
JR東日本の負担割合	15.0%

◆今後のスケジュール

令和3年度	基本協定締結
令和4～5年度	詳細設計委託
令和6年度～	工事着手
令和14年度頃	新駅開業予定